

西側は戦場で我々を負かすつもりなら、やってみよ。我々はまだ何も本気で始めていない

——プーチンが侵攻以来、最も激しく警告

<https://www.infowars.com/posts/let-west-try-to-defeat-us-on-battlefield-we-havent-started-anything-seriously-yet-putin-in-fiercest-warning-since-invasion/>

ZeroHedge

July 7, 2022

⇒「同時に我々は和平会談を拒否してはいない」と彼は言った。

ロシア議会高官たちに対する木曜日の演説で、ウラジミール・プーチン大統領は、軍隊はまだウクライナへの軍事作戦を始めたばかりだと警告し、おそらくウクライナ全体に対する長期の戦闘が起こるだろうと言い、キエフに武器を送り続ける西側に対して、直接の挑戦状を突き付けた。

これは、彼が2月24日の侵攻を認めて以来、西側のウクライナ支持者に対して発せられた、最も激しいスピーチであり挑戦の一つだと、広く見られている。彼はこう言った——
<https://nationalpost.com/news/world/russias-putin-if-west-wants-to-beat-us-on-battlefield-let-them-try-2> 「西側は、ウクライナ人が最後の一人になるまで、戦おうとしている」、そして、これはウクライナ人にとって悲劇だと彼は言ったが、その前に「それはこの方向へ向かって進んでいるようだ」と述べ、世界に対し、ロシアは「全体として、まだ何も本気で始めてはいない」と警告した。

「このところ彼らは、戦場で我々を打ち負かそうとしている、と人々は言っているようだ。まあ、それなら言わせてもらおう。やるならやってみよ」——そうプーチンは、誰とは名指さず、アメリカとNATOに直接、挑戦して言った。

「それと同時に、我々は和平会談を拒否はしない。しかし、それを拒否する者たちは、それが先に延びれば延びるほど、我々との交渉は困難になると知るべきだ」と、彼は言った——とロイターの翻訳は伝えている。

このスピーチの他の翻訳でも、プーチンは、ロシア軍が「まだ本気で」どんなことも始めていないと言ったという。彼は、2014年から続いている、ドンバスでの戦争の敵対行為を始めたのは、西側だと非難した。プーチンはまた、彼の前のテーマを繰り返して、ロシアが NATO の覇権主義に抵抗したおかげで、多極的な世界が誕生するようになった——と **Moscow Times** は彼の言葉を引用している：——

<https://www.themoscowtimes.com/2022/07/07/putin-says-if-west-wants-to-defeat-russia-on-battlefield-let-them-try-a78241>

彼は「西側集合体」が、ウクライナで〈戦争〉を始めたのだと非難し、**多極世界へのシフトの始まりは、ロシアによるもの**だと言った。」…「このプロセスは止めることができない (不可逆)」と彼はつけ加えた。」

彼はまた、キエフとその西側同盟国に対し、モスクワは、ウクライナでの軍事行動をまだ「本気で」始めてさえいない、と警告した。「あらゆる人々が、我々はまだ本気で始めてさえいないことを知るべきだ。」

彼はまた、西側内部の人々に対する批判を仄めかすかのように、BRICS 諸国の、「全体主義リベラリズム」に対する抵抗があると言った。

プーチンは、ほとんどの国家は、西側の「全体主義的リベラリズム」モデルと、「偽善的なダブル・スタンダード」に従うことを、望んではいないと言った。「ほとんどの国家の人々は、そのような生活や未来を望んでいない。」

「彼らは、自分自身を例外だと考える人々の前で、膝を折り、屈辱的な行動を取ることに、本当に飽き飽きしているのだ。」

今週、ペンタゴンが、更に進歩した長距離兵器を、ウクライナの兵器庫に送ると言ったことを考えると、ロシア-NATO の脅しゲームは、危険な、際限のない未来に続きそうな様子である。米、英、EU の高官たちは、一方で、国内の人民たちに「犠牲」を呼びかけ続けている。

バイデンは、先週、この戦争は「どこまででも」続くだらうと言った。

.....

プーチンと、彼の2人の国家安全保障高官のレトリックは、特に、ウクライナがリシチャンスク市から退却した結果、ロシア軍がルガンスク地域のすべてを掌握したことから、より大胆になっている。ロシア軍と、彼らの分離派ウクライナ同盟軍は、今、ドンバスのす

すべての解放へ向かうものと予想され、戦略的に不利な場所にあるクラマトルスク市への包囲作戦が、今週始まった。

ロシア侵攻の前の、ウクライナとロシアの軍事バランス

(以下省略)

【訳者 Greatchain 注】

日本政府・メディア連合体に問う——。プーチンのこのような挑戦をどう考えますか？ これによって、ますますプーチンの悪辣さが明かになった、プーチンとかロシアという、どうしようもない悪党どもは、やはり「許すことができない」、容赦なく滅ぼすべきだと考えますか？ それとも「単なる脅しとは、ちょっと違うのではないか」と考えますか？

昨日、安倍元首相の射殺事件があり、私はその翌日にこれを書いている。私は昨夜、恐ろしい夢を見た。今、日本が戒厳令下であり、我々全員が政府の命令を聞かなければならなくなつた。我々の寝具なども囚人のように支給され、なんと、我々の枕が、死んだ人々の遺骨を砕いたものでできている。怖がっている人々に向って、私は、まるで政府を代弁するように、「なにこれは、なまの骨でなく枯れ骨なんだから、その点は大丈夫です」などと言っている。しかし、この事態を何とかしなければという有志が集まって、集会に向つた。私は全員が揃うまで待って、しんがりとして出発した。そこで夢は終わった…

私の4日付のエッセー「この政府ありて、このエセ義人犯罪者あり」を再読していただきたい。まさにこの「エセ義人犯罪者」が、安倍さんを狙って現れた。この事件には、我々全員に向って発せられた意味（警告）があると考えべきである。ロシア政府は、日本の行動に対して怒り、政治家の大半に入国拒否を伝えたが、安倍さんなどわずかの人々を例外としていた。